

NXPowerLiteTM - データ圧縮ソフト -

NXPowerLite 8 デスクトップエディション for Mac

マニュアル



目次

1. NXPowerLite デスクトップエディション	3
1.1. 動作環境およびサポートしているファイル形式	3
2. NXPowerLite デスクトップエディションの 利用方法	5
2.1. プログラムをインストールする	5
2.2. シリアルナンバーを登録する	7
2.3. フォルダーを追加してファイルを軽量化する	8
3. 各種機能・設定	10
3.1. 連携機能	10
3.1.1. Finder 連携	10
3.2. 軽量化に関する設定	11
3.2.1. 軽量化レベル	11
3.2.2. 保存時の設定とファイルの保存先	14
3.2.3. ファイル名	15
3.3. ヘルプ	16
4. その他	17
4.1. ファイル軽量化の仕組み	17
4.2. 軽量化レベルの設定による JPEG 画質レベルの比較	18
4.3. ファイルが軽量化されない理由	20
4.3.1. ファイルに関する問題	20
4.3.2. システムエラー	22
4.3.3. トラブルシューティング	22
4.4. アンインストール方法	23

1. NXPowerLite デスクトップエディション

NXPowerLite デスクトップエディションは、クライアント端末に保存されている肥大化した Microsoft Office ファイル（PowerPoint、Word）や JPEG、PDF ファイルを、クオリティを損なうことなくファイルサイズを削減し、容量不足の解消および効率的なリソースの活用を実現するソリューションです。容量が大きいファイル内の余分な部分を取り除き、画像を最適なデータ形式と解像度に変換することにより、ファイルそのものを圧縮します。ファイル形式や拡張子、機能は全て変わらず、画質や見た目もそのままの状態、ファイル内に含まれる全ての属性を保持します。解凍ソフトは必要なく、特別な閲覧ソフトも必要がないため、今まで通り同じ形式のままファイルを開くことができ編集も可能です。

NXPowerLite デスクトップエディションは、非可逆圧縮によりファイルを圧縮します。ファイル内に数多く存在する余分な部分を取り除き、最適になるように調整します。

1.1. 動作環境およびサポートしているファイル形式

最新の動作環境および詳細は、以下のページをご参照ください。

https://www.nxpowerlite.jp/products/nxpowerlite-desktop_mac.html#system

オペレーティングシステム

macOS Mojave / Catalina / Big Sur

※ 体験版の NXPowerLite デスクトップエディションの場合、一度に軽量化できるファイル数は最大 20 に制限されています。



NXPowerLite デスクトップエディションは、ローカルの端末上に保存されたファイルの軽量化を行うことを前提に作られています。

サポートしているファイルの種類

- **PDF**

PDF のバージョンが 1.4 から 1.7 Extension Level 8 のファイル。また、以下の規格に準拠した PDF ファイル。

PDF/A, PDF/X, PDF/E, PDF/UA, PDF/VT

※ NXPowerLite は PDF ポートフォリオを軽量化しません

- **Microsoft Office**

Microsoft Office 97-2019、Office 365 で作成したファイル。以下の拡張子を持つファイルに対応しています。

PowerPoint: pptx, pptm, ppt, ppsx, ppsm, pps, potx, potm, pot

Word: docx, docm, dotx, dotm

- **JPEG**

以下の拡張子を持つ JPEG ファイルに対応しています。

JPEG, JPG, JPE, JFIF, JIF, JFI

- **PNG**

png の拡張子を持つファイルに対応しています。

- **TIFF**

tiff および tif の拡張子を持つファイルに対応しています。

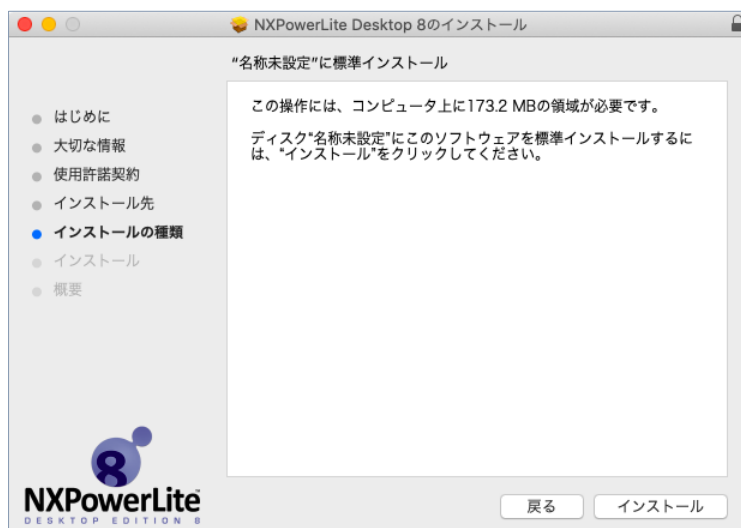
2. NXPowerLite デスクトップエディションの 利用方法

2.1. プログラムをインストールする

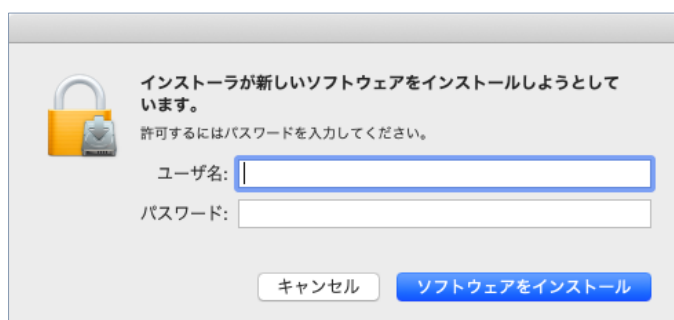
1. ダウンロードしたインストーラーを実行します。
2. インストールウィザードに沿って[続ける]をクリックします。



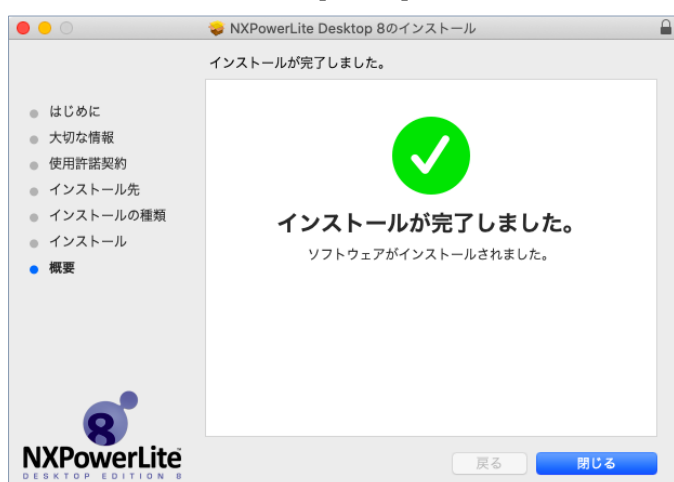
3. [インストール]をクリックします。



4. ポップアップが表示されたらユーザー情報を入力し、[ソフトウェアをインストール]をクリックしてインストールを実行します。

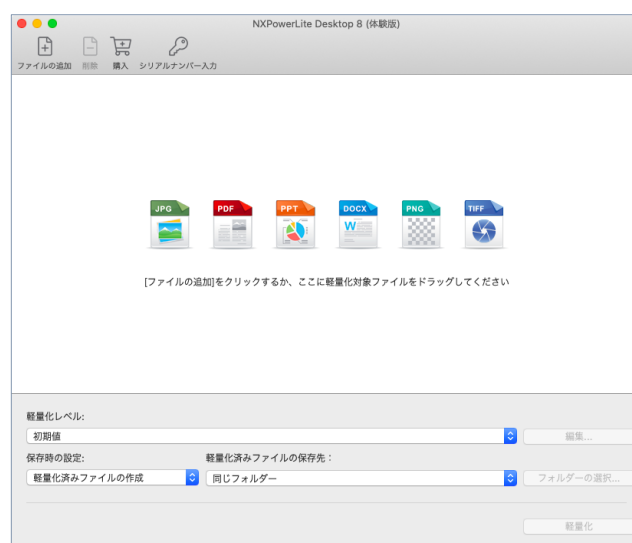


5. 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックしてウィザードを終了します。



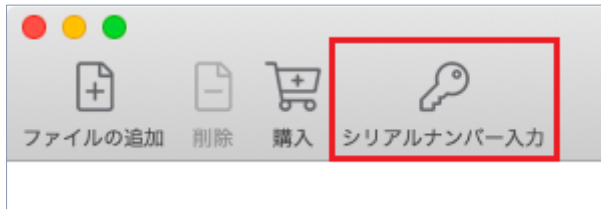
6. デスクトップ上に NXPowerLite デスクトップエディションのアイコンが作成されます。ダブルクリックするとプログラムが起動し、ダッシュボードが表示されます。

▼アイコン ▼ダッシュボード

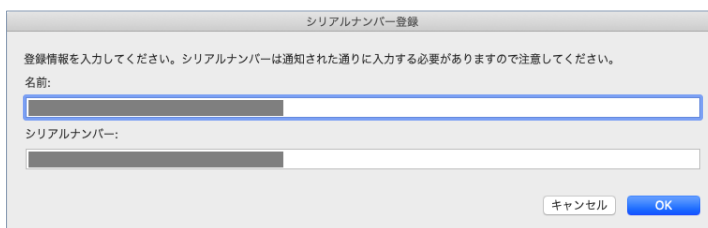


2.2. シリアルナンバーを登録する

1. [シリアルナンバーの入力]をクリックします。

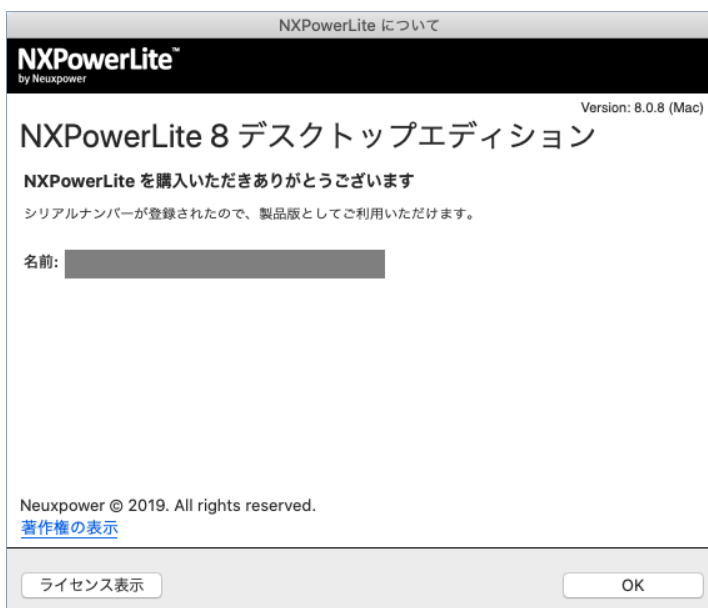


2. お手持ちのシリアルナンバーを入力します。



※シリアルナンバーは大文字、小文字を区別します。納品メールに記載の通り入力してください。

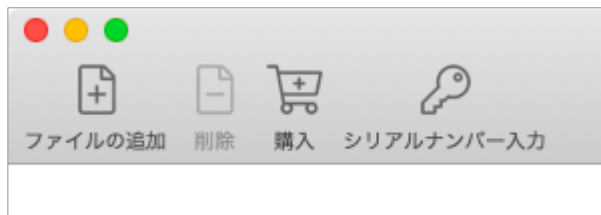
3. シリアルナンバーが有効であれば、「NXPowerLite について」のウィンドウが表示され、承認された登録情報の詳細が表示されます。



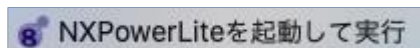
2.3. フォルダを追加してファイルを軽量化する

1. 以下のいずれかの方法で、軽量化を行うファイルを追加します。

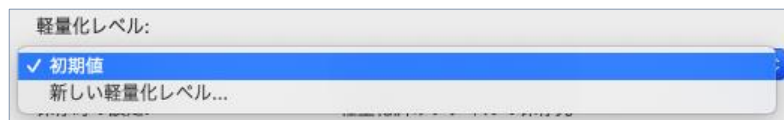
- ファイルをドラッグアンドドロップする。
- [ファイルの追加]メニューをクリックし、ファイルを選択する。



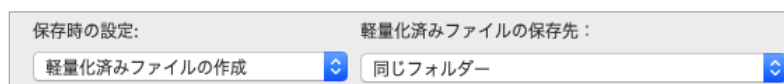
- ファイル上でコンテキストメニュー（右クリック）を表示し、表示されたメニューから「NXPowerLite を起動して実行」をクリックする。



2. 軽量化のレベルを変更する場合、[軽量化レベル]に使用するプロファイル（3.2.1 参照）を指定し、[OK]をクリックします。

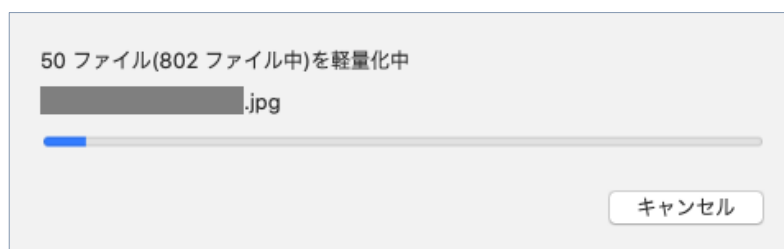


3. 保存方法および保存先を変更する場合、[保存時の設定][軽量化済みファイルの保存先]（3.2.2 参照）を指定します。



4. [軽量化]をクリックすると軽量化を開始します。処理の進捗はステータスバーで確認できます。

▼ステータスバー



5. 正しく軽量化が終了すると、ファイル名の下に「成功」と表示されます。また、ファイル名の右側には軽量化前のサイズと、どれだけファイルサイズを小さくできたかの軽量化率が表示されます。

The screenshot shows the NXPowerLite Desktop 8 application window. At the top, there are three colored window control buttons (red, yellow, green) and the title bar text "NXPowerLite Desktop 8". Below the title bar is a menu bar with three items: "開く" (Open), "フォルダー内に表示する" (Show in folder), and "Eメールで送信" (Send via email). The main area is a table with four columns: "ファイル" (File), "元のサイズ" (Original size), "%", and "軽量化後のサイズ" (Size after optimization). The table lists 10 files, each named "成功/軽量化済みファイル.jpg". The first row is highlighted in blue. The first row shows a file size of 3.0 MB, 62% optimization, and a resulting size of 1.1 MB. The last row shows a total of 802 files processed, with a total original size of 2.38 GB, 5% optimization, and a resulting size of 2.25 GB. At the bottom left, there is a question mark icon in a circle. At the bottom right, there is a button labeled "閉じる" (Close).

ファイル	元のサイズ	%	軽量化後のサイズ
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
成功/軽量化済みファイル.jpg	3.0 MB	62%	1.1 MB
処理されたファイル数: 802	2.38 GB	5%	2.25 GB

※ ファイルが軽量化できなかった場合や、埋め込まれた文書が図形化された場合にもファイル名の下に理由が表示されます。 詳細については、4.3 をご参照ください。

6. 軽量化後のファイルに対しては、様々な操作を行うことが可能です。ファイル形式や軽量化したファイル数により、実行できる機能が異なります。



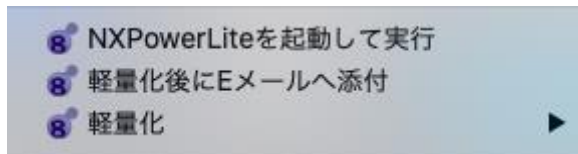
- **開く**
選択した軽量化済みファイルを対応するアプリケーションで開きます。
- **フォルダー内で表示する**
軽量化済みファイルの保存先フォルダーを開きます。
- **Eメールで送信**
軽量化済みのファイルが添付されたメールを既定のメールプログラムで作成できます。

3. 各種機能・設定

3.1. 連携機能

3.1.1. Finder 連携

PDF、PowerPoint、Word、JPEG、PNG、TIFF ファイルに対して、Finder 上のコンテキストメニューから NXPowerLite を実行できます。メニュー内のオプションは以下の通りです。



すべてのファイル形式で実行できるオプション	
以下のオプションは、Finder 連携時すべてのファイル形式に対して実行可能です。	
NXPowerLite を起動して実行	NXPowerLite を起動し、軽量化対象リストとしてメイン画面にファイルを追加します。
軽量化後に E メールへ添付	軽量化を実行後に、Eメールの新規作成画面に軽量化済みファイルを添付します。
軽量化¹ > 軽量化済みファイルの作成	元ファイルに対して処理は行わず、元ファイルと同じフォルダーに軽量化済みのファイルが新規に作成されます。
軽量化¹ > 元ファイルのバックアップの作成	元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きします。また、元ファイルのバックアップが同じフォルダー内に作成されます。
軽量化¹ > 元ファイルに上書き	元ファイルを軽量化済みファイルで上書きします。元ファイルのバックアップは作成されません。

¹ 「軽量化」では NXPowerLite を起動することなくファイルの軽量化を実行できます。

3.2. 軽量化に関する設定

3.2.1. 軽量化レベル

初期設定の軽量化レベルは初期値となります。モニターやプロジェクターでファイルを閲覧する場合にお薦めです。その他のディスプレイでも、高品質なファイルを閲覧できますが、高解像度のモニターで閲覧する場合や高画質印刷を行う場合には適しない場合もあります。

軽量化レベルプロファイルの新規作成を行う場合、軽量化レベル画面で初期値のプロファイルのコピーをベースに作成する方法をお薦めします。新しくプロファイルを作成する場合、プロファイル名および軽量化レベルは任意の値に設定できます。

1. メイン画面の[軽量化レベル:]から[新しい軽量化レベル]またはメイン画面の[編集]ボタンから[プロファイルの管理]-[新規作成]を選択します。
2. PDF、Microsoft Office、JPEG ファイルに対する軽量化レベルの選択を行います。
3. プロファイル名を指定して「OK」を選択します。



※ 使用する際は、メイン画面上の「軽量化レベル」欄に作成したプロファイルが指定されていることをご確認ください。



軽量化レベルの設定	
JPEG 画質（初期値：7）	このオプションでは、ファイル内の画像を軽量化する際の画質を設定します。設定値は「1」から「9」まであり、値が大きいほど画質は高くなりますが、あわせてファイル容量も大きくなります。例えば、JPEG 画質の設定値が「1」の場合、ファイルサイズはかなり小さくなりますが、見た目の画質は粗くなる可能性があります。一方、JPEG 画質の設定値が「9」の場合は、見た目の画質は維持できますが、ファイルサイズはあまり小さくなりません。 見た目の画質維持と、効果的と感じられるファイルサイズの軽量化率を得るには、初期値を適用して軽量化することをお勧めします。
次の解像度で軽量化： （初期値：1280 x 800）	Office ファイルには、デジタルカメラで撮られた高解像度でサイズの大きな画像が貼り付けられていることが多々あります。NXPowerLite は解像度を指定した軽量化が可能です。ある解像度を選択して軽量化したファイルを、より高い解像度で表示すると、ファイル中の画像が少しぼやける場合があります。

PDF のみ	
プライベートデータの削除 (初期値：有効)	PDF ファイルの作成や編集が可能な Adobe Acrobat、InDesign、Illustrator、Photoshop などのアプリケーションではファイル内にそれぞれのアプリケーション固有の編集データを保持することができます。 一例として、Adobe Illustrator の場合、PDF 保存時のオプションにある「Illustrator の編集機能を保持する」をチェックした上で保存を行ったファイルには、保存された PDF には「PDF に関するデータ」と「Illustrator のアプリケーション固有の編集データ」という 2 つのデータが含まれます。（このアプリケーション固有の編集データを保持した場合、当該 PDF を再度、Illustrator で開く際、Illustrator のファイルとして開くことができます） NXPowerLite の[プライベートデータの削除]機能を使用すると、上記のうちアプリケーション固有の編集データを削除することができます。なお、編集データを削除した場合、Adobe 製品のアプリケーション固有の編集データを使用する機能は無効になりますが、PDF ファイル自体の基本的な編集は可能です。 ※編集者や更新日時といったメタ情報は削除されません。
Microsoft Office のみ	
画像のトリミングを許可 (初期値：有効)	このオプションを有効にすると、トリミングツールで調整された画像を検出し、トリミングされた部分のデータを削除します。これによりファイル容量は削減されますが、削除された画像データを復帰させることはできません。 ※Office Open XML 形式のファイル内にあるトリミングされた画像は、「画像のトリミングを許可」が有効な状態でもトリミング箇所は削除されません。
埋め込まれた文書の図形化 (初期値：有効)	このオプションを有効にすると、以下のファイル：Office ファイルに含まれるオブジェクト(Excel で作成されたグラフなど)は、すべて画像として処理されます。図形変換を行うと、ファイル容量は大幅に減りますが、図形変換した埋め込み文書は再編集できなくなります。 例えば、図表を含む Excel シートが埋め込まれた PowerPoint 文書は、その図表をダブルクリックすることにより、Excel 上で編集することができます。しかし、軽量化によりファイル内の埋め込まれた文書は画像に変換されるので、再度図表をダブルクリックしても、Excel で編集することはできません。 埋め込まれた文書の図形化を実行した場合、軽量化後の結果画面に、ファイル名とともにメッセージが表示されます。埋め込まれた文書の図形化を実行したくない場合は、軽量化レベルの設定でこのオプションを無効にしてください。 ※Office Open XML 形式のファイル内に埋め込まれたオブジェクトは、「埋め込まれた文書の図形化」の対象外です。
【PowerPoint のみ】 スライドマスターの軽量化 (初期値：有効)	このオプションはスライドマスターに含まれる画像を軽量化するかどうか選択することができます。このオプションが有効の場合、PowerPoint 内の全ての画像が軽量化されます。このオプションが無効の場合、スライドマスターに含まれる画像の軽量化は行われません。

JPEG のみ	
EXIFデータの削除（初期値：無効）	JPEG 画像は通常、Exifデータ(カメラのモデルや設定情報など)を保持しています。初期設定では、Exifデータは削除されず維持されたままになります。このオプションを有効にした場合、軽量化実行時に JPEG 画像から Exifデータを削除します。



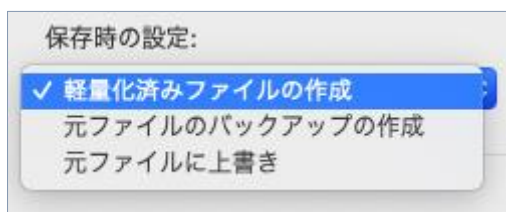
[軽量化レベル]設定画面内にある[PDF] および Microsoft Office オプションの[JPEG 画質]設定は、それぞれ Microsoft Office 文書と PDF ファイル内に含まれる JPEG 画像に対して適用されます。[初期値]では、JPEG ファイルに対して解像度の変更は適用されません。解像度を変更したい場合には、新しい軽量化レベルプロファイルを作成し、任意の解像度を設定してください。

なお、現在 PNG ファイルおよび非圧縮の TIFF ファイルに対しての設定はありません。

3.2.2. 保存時の設定とファイルの保存先

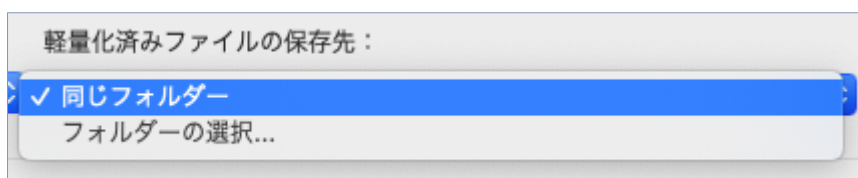
軽量化済みファイルを作成する際、作成方法および保存先を以下のように設定することが可能です。

【保存時の設定】



- **軽量化済みファイルの作成（初期値）**
このオプションを選択した場合、元ファイルに対して処理は行わず、軽量化済みのファイルが新規に作成されます。
- **元ファイルのバックアップの作成**
このオプションを選択した場合、元ファイルのバックアップが指定した保存先に作成されます。元ファイルは軽量化済みのファイルで上書きされます。
- **元ファイルに上書き**
このオプションを選択した場合、元ファイルを軽量化済みファイルで上書きします。

【軽量化済みファイルの保存先】



- **同じフォルダー（初期値）**
このオプションを選択した場合、軽量化済みファイルおよび元ファイルのバックアップを元ファイルが保存されているフォルダー内に保存します。
- **<フォルダーの選択>**
このオプションを選択した場合、軽量化済みのファイルおよび元ファイルのバックアップを元ファイルとは別の指定したフォルダーに保存します。

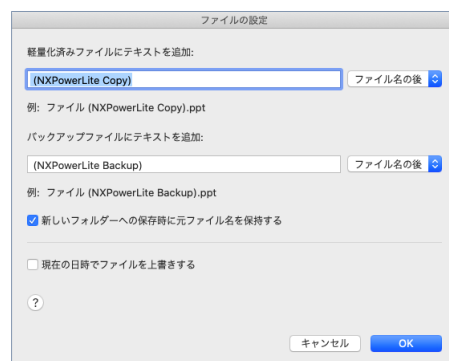


元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きする時の注意事項

[元ファイルに上書き]を選択した場合、元ファイルのバックアップは作成されません。また、NXPowerLite による軽量化処理は不可逆圧縮ですので、一度軽量化すると元のファイルに戻すことができません。その中でも PNG ファイルは軽量化時に色数を調整するため、まれに見た目が劣化する可能性がある点をご注意ください。

3.2.3. ファイル名

ファイルの軽量化実行後に作成されるコピーファイル名、または新規の軽量化済みファイルの名前に追加するテキストおよび追加位置を指定します。テキストの追加位置は、「ファイル名の前」「ファイル名の後」から選択することが可能です。



軽量化済みファイルにテキストを追加	[保存時の設定:]が「軽量化済みファイルの作成」の際に追加するテキストを指定します。初期値では「(NXPowerLite Copy)」がファイル名の後に追加されるよう指定されています。 元ファイル名 = Image.jpeg 軽量化済みファイル名 = Image (NXPowerLite Copy).jpeg
バックアップファイルにテキストを追加	[保存時の設定:]が「元ファイルのバックアップの作成」の際に追加するテキストを指定します。初期値では「(NXPowerLite Backup)」がファイル名の後に追加されるよう指定されています。 元ファイル名 = Document.pdf バックアップファイル名 = Document (NXPowerLite Backup).pdf
新しいフォルダーへの保存時に元ファイル名を保持する	[保存時の設定:]または[軽量化済みファイルの保存先:]が以下の場合、元ファイル名を保持して軽量化済みファイルを作成します（元ファイルを上書き、または元ファイルとは別の場所にファイルを保存する際の設定です）。 ・ [保存時の設定:] = 元ファイルを上書き ・ [軽量化済みファイルの保存先:] = <フォルダーの選択>
現在日時でファイルを上書きする	初期設定では、元ファイルと同じ日時を軽量化済みファイルに適用しますが、この設定にチェックを入れると、ファイルの「作成日時」「更新日時」を現在日時で更新できます。

軽量化処理後、フォルダー内に同じファイル名がすでに存在していた場合には、表示されるダイアログから以下の対処法を選択してください。

- **ファイルを上書きする**

本オプションを選択した場合、保存先のフォルダー内にすでに存在している同名ファイルに対して軽量化済みファイルで上書きを行います。

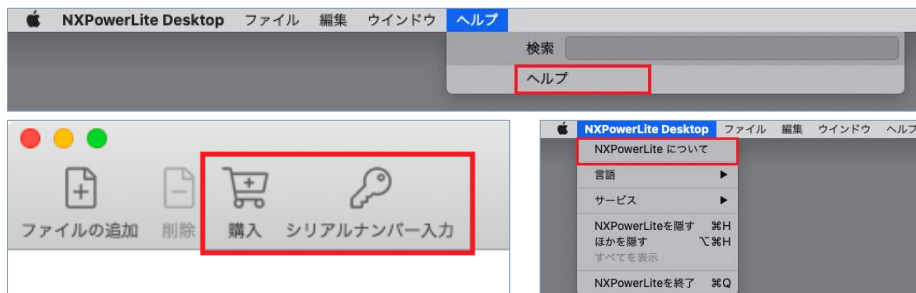
- **軽量化処理をキャンセルする**

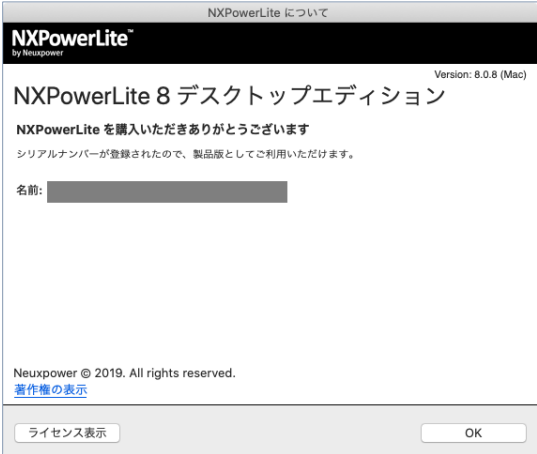
NXPowerLite による処理をキャンセルします。

- **両方のファイルを保持する（以下の例を参照）**

- 元ファイル名： Presentation.ppt
- すでに存在するファイル名： Presentation (NXPowerLite Copy).ppt
- 新規で作成するファイル名： Presentation (NXPowerLite Copy) (1).ppt

3.3. ヘルプ



ヘルプ	NXPowerLite のプログラムに組み込まれたヘルプドキュメントを表示します。 
購入	ブラウザ上で NXPowerLite の価格表ページを開きます。 ▼価格表 https://www.nxpowerlite.jp/store/
シリアルナンバーの入力	NXPowerLite を製品版として利用するために必要なシリアルナンバーの入力画面を表示します。シリアルナンバー登録の詳細については、2.2 をご参照ください。
NXPowerLite について	バージョン情報、名前、著作権表示、ライセンス表示が確認できるウィンドウを表示します。 

4. その他

4.1. ファイル軽量化の仕組み

PowerPoint、Word

- unnecessaryメタデータの削除
- 「高速保存」情報の削除
- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- 埋め込まれた文書の図形化 (オプション)

PDF (PDF、PDF/A、PDF/X、PDF/E、PDF/UA、PDF/VT)

- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- プライベートデータを削除 (オプション)

JPEG

- JPEG 圧縮

TIFF

- LZW 圧縮を使用して TIFF ファイル内の非圧縮画像を軽量化
- マルチページ TIFF ファイルに対しても LZW 圧縮を使用して非圧縮ページを軽量化

4.2. 軽量化レベルの設定による JPEG 画質レベルの比較

以下の表は、JPEG 画質の各軽量化レベルで軽量化した際のファイルサイズと軽量化率の結果となります。結果は軽量化する画像によっても異なりますので、こちらの情報はあくまで目安としてください。



軽量化前の画像



JPEG 画質 : 9



JPEG 画質 : 8



JPEG 画質 : 7



JPEG 画質 : 6



JPEG 画質 : 5



JPEG 画質 : 4



JPEG 画質 : 3



JPEG 画質 : 2



JPEG 画質 : 1

以下の表は、元のファイルサイズと各軽量化レベルで軽量化したファイルサイズの表となっています。ご覧のとおり、JPEG 画像に対して軽量化する際に推奨する初期値の「8」(Office ファイル内の JPEG 画像に対しては「7」が推奨する値です)で軽量化したファイルは、原本ファイルの 23%に軽量化されたにも関わらず表示や印刷には必要十分な画質となっています。

JPEG 画質	ファイルサイズ(KB)	軽量化後のファイル容量(%)
軽量化前	494	
9	207	41
8	117	23
7	90	18
6	76	15
5	66	13
4	59	12
3	52	11
2	44	9
1	34	7

JPEG 画像に対する軽量化率

4.3. ファイルが軽量化されない理由

4.3.1. ファイルに関する問題

軽量化実行後の結果画面には、ファイル名の下に軽量化できなかった理由の一覧が表示されます。以下の表は、各理由の詳細になります。

理由	詳細
すでに軽量化済みのファイル	NXPowerLite ですでに軽量化されたファイル。軽量化の設定を変更する (3.2.1 参照) ことにより再度軽量化することが可能です。
暗号化またはパスワード保護されたファイル	暗号化もしくはパスワードで保護されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。暗号化もしくはパスワードを解除してから、軽量化を行ってください。
デジタル署名されたファイル	デジタル署名されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。デジタル署名を削除してから軽量化を行い、軽量化処理完了後に再度デジタル署名を追加してください。
現在の設定では軽量化できないファイル	設定した軽量化レベルでは軽量化できないファイル(解析不能、破損している場合も本メッセージが表示されます)。ファイル内に多数の画像が貼り付けられているにも関わらず、軽量化できない場合は調査いたしますので、ご提供可能な場合には 弊社サポートまでファイルを送付してください。
予期せぬエラー	軽量化中にエラーが発生したファイル。詳細は、トラブルシューティングを参照してください。
軽量化処理をキャンセルされたファイル	ファイルの軽量化処理前または処理中にキャンセルされました。
高速保存された Word 文書	[高速保存を許可する]オプションが有効になっている Word 文書。古いバージョンの Microsoft Office で作成されたファイルであるため、Office 2003 以降の Office のバージョンで開き、再保存してから軽量化を行ってください。
サポートしていないファイル形式	軽量化対象の対応ファイル形式に関する最新情報は動作環境を参照してください。例として拡張子が.docx であるファイルでも、中身が.rtf 形式のファイルは軽量化できません。
Office 97 より前の Office で作成されたファイル	Office 97 または PDF バージョン 1.4 より前のバージョンで作成されたファイルは軽量化されません。
ファイルが開けないまたは保存できないため生成できなかった PDF ファイル	ファイルの軽量化処理後に破損または問題が発生した可能性があります。詳細は、トラブルシューティングを参照してください。
サポートしていない PDF ファイル形式 (PDF ポートフォリオ)	NXPowerLite は PDF ポートフォリオファイルを軽量化できません。
すでに圧縮済みの TIFF ファイル	NXPowerLite は非圧縮の TIFF ファイルの軽量化に対応しています。圧縮済みの TIFF ファイルに対して軽量化を行うことはできません。

サポートしていないタグを含む TIFF ファイル	TIFF ファイル内のカスタムタグ内に画像が含まれています。 NXPowerLite はスタンダードタグ内に保存された画像のみを処理します。
サポートしていないアプリケーションで作成されたファイル	Microsoft Office 以外のアプリケーションを使用して作成されたファイルの軽量化はサポートしていません。

4.3.2. システムエラー

NXPowerLite を使用中にエラーが発生した場合の原因については、以下の表を参照してください。いずれにも当てはまらない場合にはシステム管理者または弊社サポートまでお問い合わせください。

理由	詳細
アクセスが拒否されました	ファイルへのアクセスに必要な権限がないユーザーで NXPowerLite を実行しています。軽量化処理に必要な権限へ変更してください。
元ファイルを読み込めません(ファイルは存在しません)	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、ファイルの削除/移動/ファイル名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
フォルダーが存在しません	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、フォルダーの削除/移動/フォルダー名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
元のファイルを上書きできません(共有違反)	他のアプリケーションまたはシステム処理によりファイルが開いた状態であるため、NXPowerLite がファイルにアクセスできません。

4.3.3. トラブルシューティング

ファイルの軽量化ができない理由として、以下の理由があげられます。

- ファイルが破損している
- アクセス権限のないネットワーク上のドライブまたは外付けデバイスにファイルが保存されている

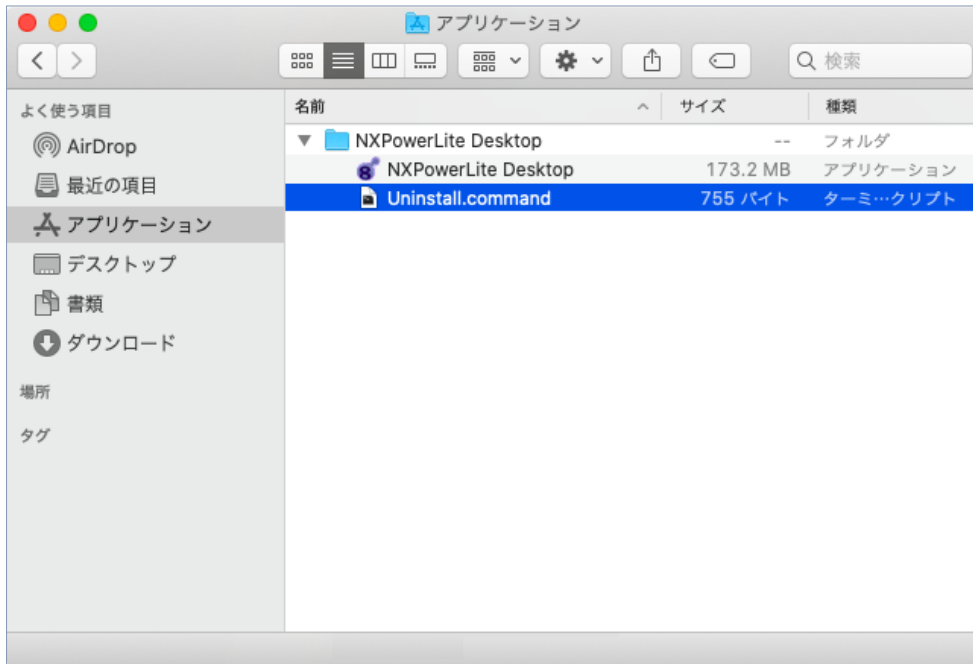
解決方法

- **ファイルの再保存**
ファイル編集が可能なアプリケーションでファイルを開き、別名で保存します。
- **元のファイル/軽量化済みファイルが保存されているフォルダーがローカルマシンのハードディスク上に保存されていることを確認**
ローカルマシンのハードディスク上(デスクトップなど)に軽量化対象の元ファイルをコピーして保存しておきます。

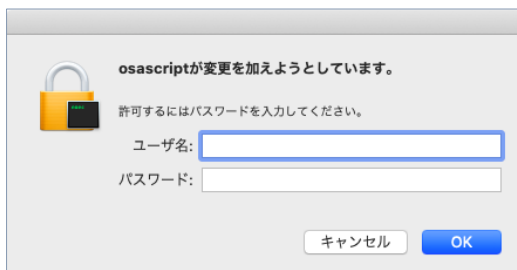
上記の手順でも問題が解決しない場合は、技術サポートへお問い合わせください。

4.4. アンインストール方法

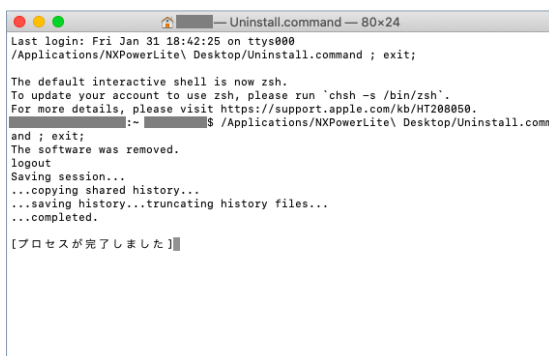
1. Finder の[アプリケーション]を選択します。
2. [NXPowerLite Desktop]内にある、[Uninstall.command]をクリックします。



3. ポップアップが表示されたらユーザー情報を入力し、[OK]をクリックします。



4. [プロセスが完了しました]と表示されると、アンインストールの完了です。



サポート

不明点や不具合などがございましたら、下記NXPowerLite FAQページをご参照ください。

<https://www.nxpowerlite.jp/support/>

FAQをご覧になっても問題が解決しない場合や、その他詳細につきましては、以下のページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://www.nxpowerlite.jp/contact-us/>

NXPowerLiteに関するお問い合わせはメールのみになります。

電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

NXPowerLite 開発元

Neuxpower Solutions Ltd.

URL: <https://www.neuxpower.com/>

neuxpower

NXPowerLite 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: <https://www.oceanbridge.jp/>

